

能登地域における患者動態からの 考察

神野提出資料

地域崩壊 ↔ 医療崩壊

地域再生 ↔ 医療再生

能登半島

市立輪島病院
199床

珠洲市総合病院
199床

能登半島地震震源地

公立穴水総合病院
177床

公立宇出津総合病院
188床

町立富来病院
100床

国立病院機構七尾病院
290床

・ 恵寿総合病院
454床

公立能登総合病院
434床

- : 国立病院
○: 公立病院
●: 民間病院

能登中部医療圏 高齢化率28.1%

●入院患者の流出入の流れ

石川県入院患者数（一般、療養、精神科を含む）

県内発生患者数	17,000人
能登北部	1,600人
能登中部	2,300人
石川中央	9,800人
南加賀	3,300人

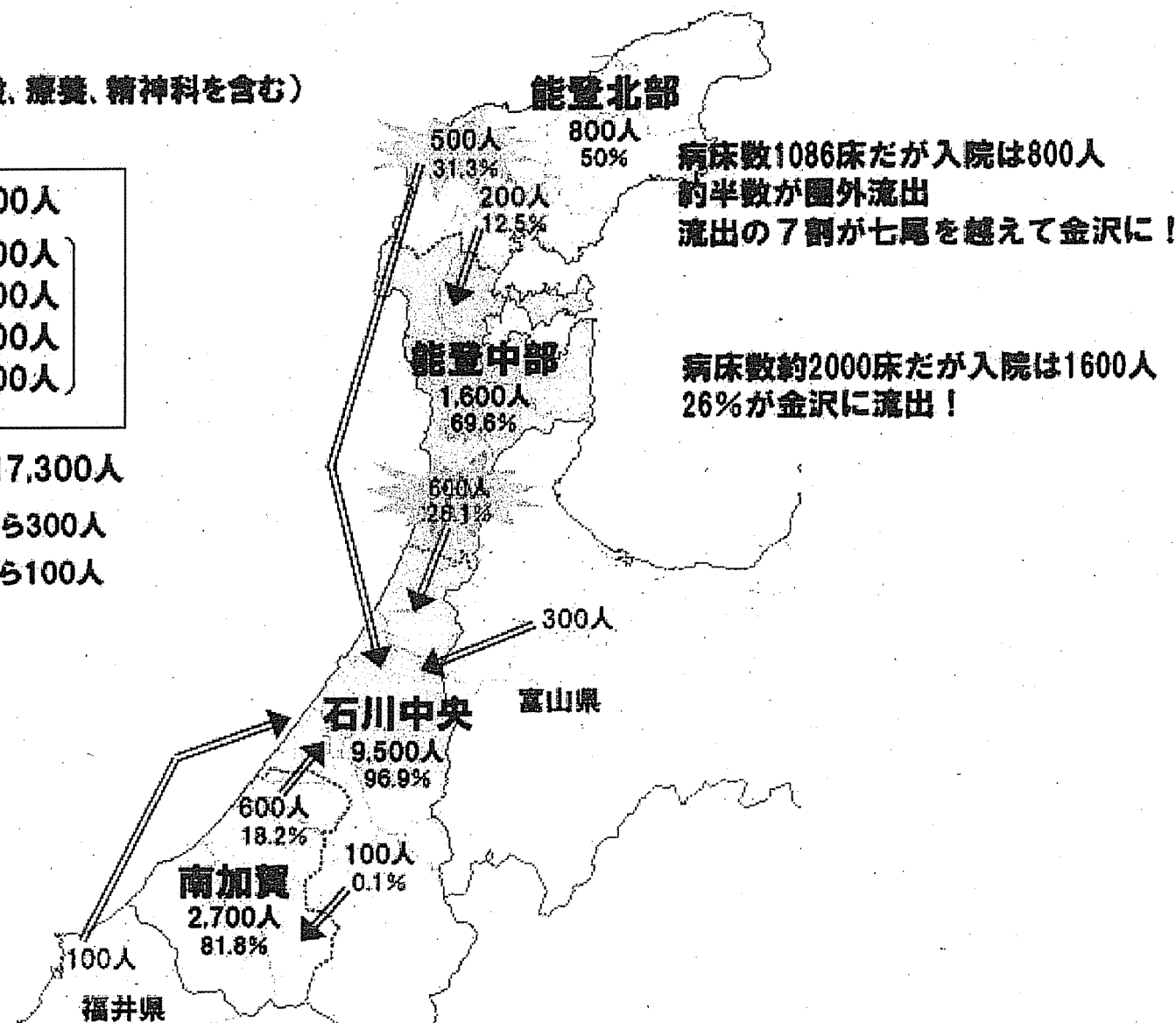
県内の病院の入院患者数 17,300人

県外からの流入 → 富山県から300人

→ 福井県から100人

県外への流出 100人

※ 100人未満は記載せず



資料：「患者調査/平成17年」

能登北部2次医療圏(輪島市、珠洲市、能登町、穴水町)の状況

○人口:81568人(H.18.10.1)

○面積:1130km²(72人/km²)

○圏内医療費総額(推計):214億円

※人口構成に厚労省「平成17年度国民医療費の概況」における5歳毎国民一人あたり医療費を乗じて推計(歯科分を除く)

○医師数:106人(病院:62人/診療所:44人)

※この他に介護老健施設、行政官勤務など若干名

○医療機関数:病院6、診療所61(病床数:1131床)

○公営病院:4施設(下記地図参照)・計763床

○公営病院の総収益:116億円(うち医業収益:106億円)

※収益には、国庫補助金:0.1億円、県補助金:0.7億円、

市町一般会計等からの補助金・負担金:7.8億円を含む

総費用:131億円(うち医業費用:120億円)

○公営病院の1日あたり患者数:2844人

(入院:534人/外来:2310人)

能登北部医療圏の公営病院

①市立輪島病院(199床)

総収益:28億円/総費用:35億円

②珠洲市総合病院(199床)

総収益:39億円/総費用:40億円

③公立穴水総合病院(177床)

総収益:25億円/総費用:30億円

④公立宇出津総合病院(188床)

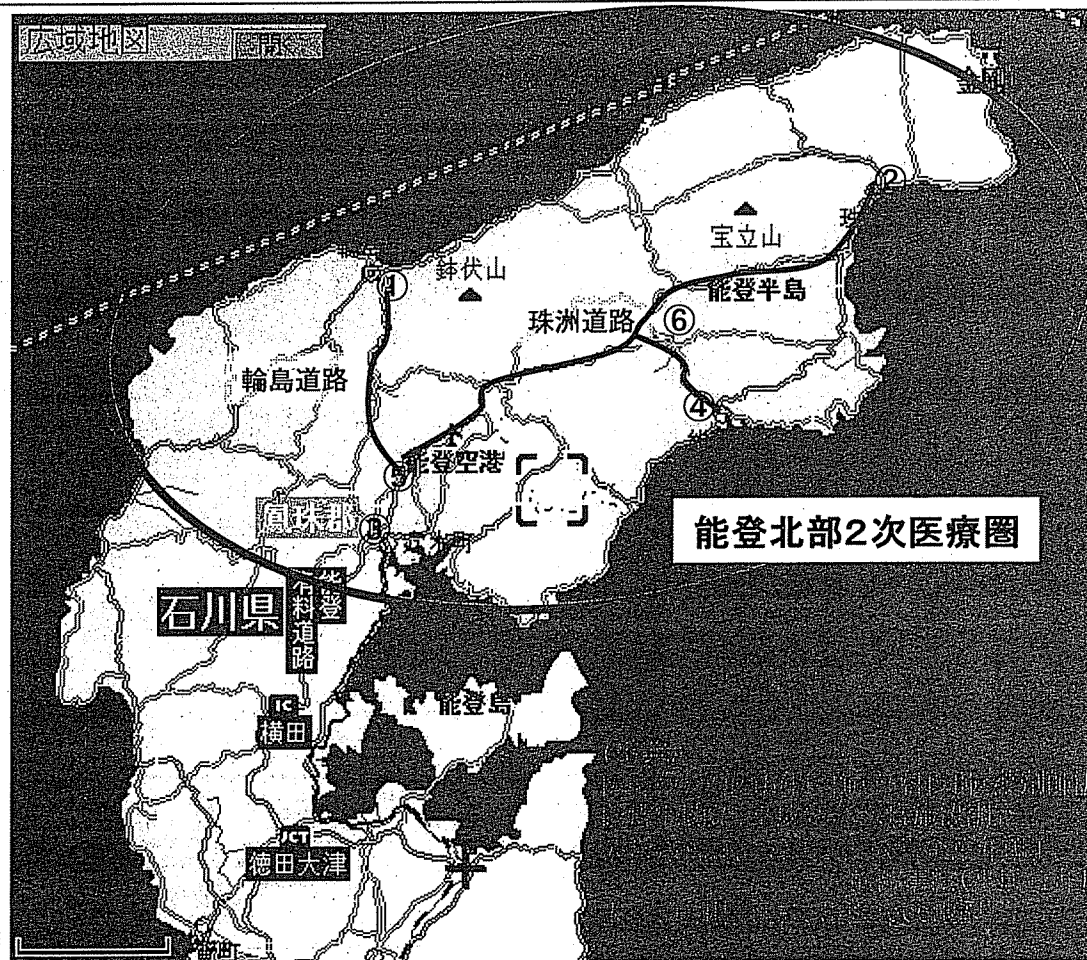
総収益:25億円/総費用:27億円

(参考:民間病院)

⑤恵寿鳩ヶ丘病院(穴水町143床)

総収益:7.9億円/総費用:7.5億円

⑥柳田温泉病院(能登町144床)



※なお、管理型臨床研修指定病院は圏内に無

選択と集中の必要性

- 少子高齢化・過疎化の進む能登地区で検討した。
- 地域の医療は、現実的に地域住民からは支持されていない。
- 住民はすでにより高度な医療を求めて能登北部→能登中部→石川中央(金沢)へと移動している。
- いつまでも、現存のすべての医療機関を存続(延命)させるよりも集中させ、今シミュレーションのような大胆な病床の機能別再編を図るべきである。
- その際、公～私を越えた再編の可能性を図るべきである。
- 地域医療のセーフティーネットとして、家庭医・総合医を活用すべきである。